

要望書

文部科学省  
高等教育局長 伯井 美德 様

一般社団法人全国医学部長病院長会議

会長 湯澤 由紀夫

新型コロナウイルス（COVID-19）に関わる課題対応委員会

委員長 瀬戸 泰之



新型コロナウイルス感染症に係る病床確保料の増額について（要望）

当会議の活動に際しましては、日々ご指導・ご支援を賜り誠にありがとうございます。また、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に係る第2次補正予算等による大学病院の支援に対して厚く御礼申し上げます。

COVID-19 については、感染拡大から半年を過ぎた今もなお感染が収まる気配もなく、各大学病院においては重症患者を中心に大学病院としての機能を生かした COVID-19 患者の治療に日夜取り組んでいるところです。

しかしながら、感染力が強い、潜伏期間が長い、重症者の死亡率が高い等の COVID-19 患者の特性からその治療に当っては、十分な感染対策が必要となっており、人的増強やハード面、ソフト面での対応が大きな負担となっております。特に重症者を多く抱える大学病院では、自治体からの要請もあり多くの確保病床を抱えており、患者の動向により空床が多く生じる場合もあります。

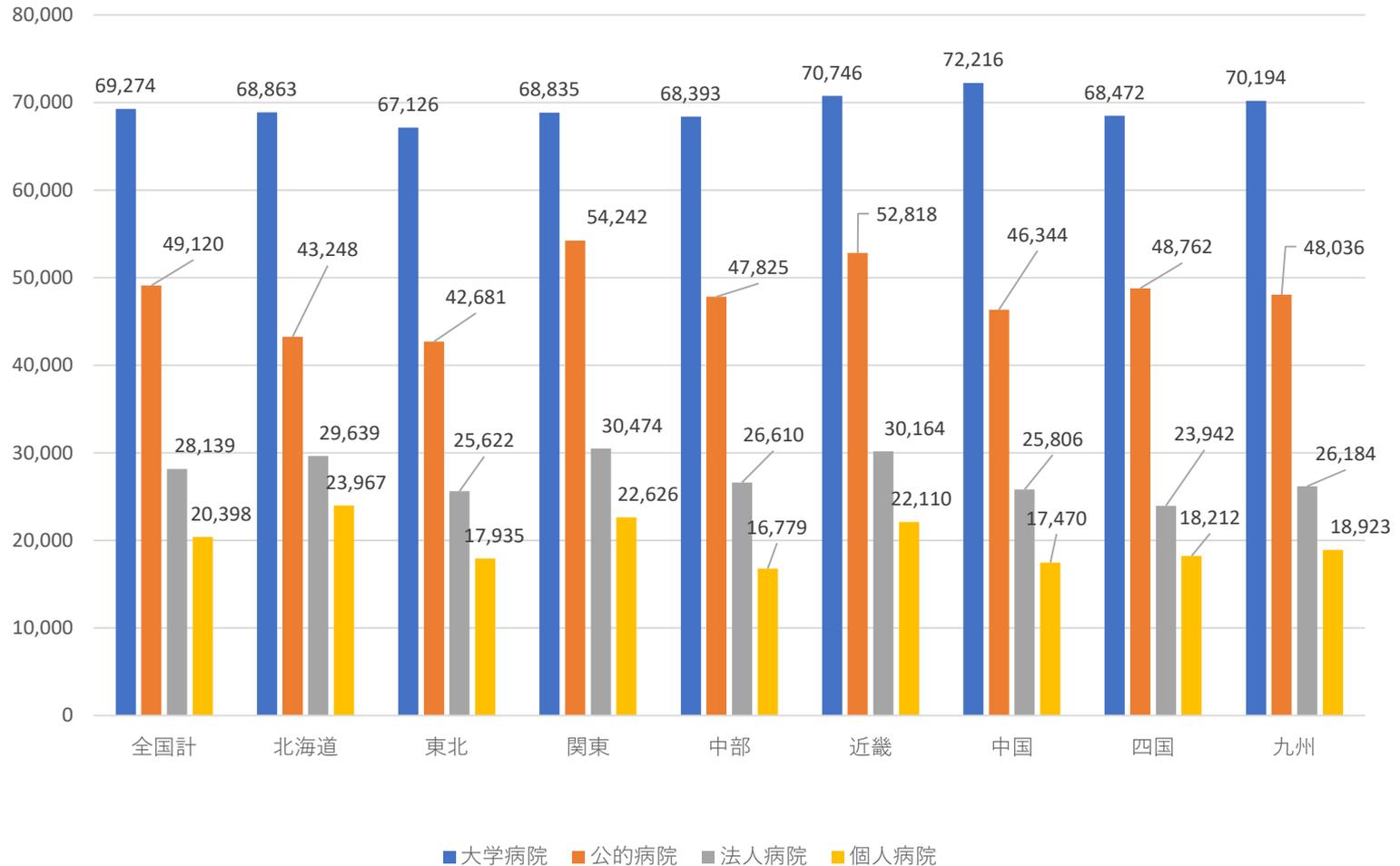
現在、第1次・第2次補正予算において、空床のための病床確保料の支援が行われておりますが、重症者を多く抱える大学病院の1床当たりの入院単価は、一般の医療機関に比べて高額になっており、現在の病床確保料の単価では、空床確保による収入減を賄うことが困難です。

つきましては、以下の点についての増額を強く要望いたします。

1. 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の「病床確保料」の1床当たり単価の増額を強く要望する。

以上

## 地域別1日当たり入院医療費（H28）



大学病院での1日当たり入院の医療費はどの地域でも他病院に比較して高額

データ出典：厚生労働省「医療費の動向調査」から